



平成27年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 森永製菓株式会社

コード番号 2201 URL <http://www.morinaga.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 新井 徹

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 杉浦 俊明

TEL 03-3456-0117

四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	88,993	9.5	2,266	8.3	2,587	9.6	1,679	33.5
26年3月期第2四半期	81,306	6.8	2,092	149.9	2,360	110.0	1,258	127.2

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,939百万円 (17.0%) 26年3月期第2四半期 2,337百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	6.45	
26年3月期第2四半期	4.83	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	144,404	61,433	40.7
26年3月期	144,441	62,594	41.5

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 58,824百万円 26年3月期 59,947百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期		0.00		6.00		6.00
27年3月期		0.00				
27年3月期(予想)				6.00		6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	177,700	8.0	4,300	11.4	4,700	5.7	2,800	65.4	10.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

27年3月期2Q	270,948,848 株	26年3月期	270,948,848 株
----------	---------------	--------	---------------

期末自己株式数

27年3月期2Q	10,626,516 株	26年3月期	10,602,220 株
----------	--------------	--------	--------------

期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期2Q	260,334,760 株	26年3月期2Q	260,388,291 株
----------	---------------	----------	---------------

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表レビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、適正な情報に基づき作成したものでありますが、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○ 添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	4
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2.	サマリー情報（注記事項）に関する事項	5
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3.	四半期連結財務諸表	6
	(1) 四半期連結貸借対照表	6
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
	四半期連結損益計算書	
	第2四半期連結累計期間	8
	四半期連結包括利益計算書	
	第2四半期連結累計期間	9
	(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
	(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
	(継続企業の前提に関する注記)	12
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
	(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は次のとおりです。

売上高は、国内の菓子食品部門及び冷菓部門が好調に推移し、平成25年10月に設立した森永キノインドネシア(株)が連結対象となったこともあり、主力の食料品製造事業が伸長し、全体では889億9千3百万円と前年同期実績に比べ76億8千7百万円(9.5%)の増収となりました。

損益は、原材料価格の高騰による売上原価率の上昇や広告宣伝費の増加等のコスト増がありましたが、売上高の増収によりコスト増を吸収し、営業利益は前年同期実績に比べ1億7千4百万円(8.3%)増益の22億6千6百万円、経常利益も前年同期実績に比べ2億2千7百万円(9.6%)増益の25億8千7百万円となりました。四半期純利益につきましても、前年同期実績に比べ4億2千1百万円(33.5%)増益の16億7千9百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお第1四半期連結会計期間より、食料品製造事業の菓子、食品部門を統合いたしました。

当第2四半期連結累計期間の比較、分析は、統合後の区分に基づいております。

<食料品製造事業>

菓子食品部門

国内では、主力ブランドの「チョコボール」は大人をターゲットにした新商品が好調に推移したこともあり大きく伸長し、「森永ビスケット」「ダース」「ハイチュウ」も好調に推移しました。一方「ミルクキャラメル」「おととと」「ミルクココア」は前年同期実績を下回りましたが、主力7ブランド全体では前年同期実績を上回りました。

前期に無垢チョコレートの健康効果がテレビ番組で取り上げられた影響もあって「カレ・ド・ショコラ」が好調に推移し、新商品が好調だった「ベイク」も大きく伸長しました。また、夏場の飲用シーンを広げている「甘酒」も前年同期実績を上回り、国内全体で前年同期実績を上回りました。

海外では、米国の「ハイチュウ」が好調に推移し、森永キノインドネシア(株)が連結対象となったこともあり前年同期実績を上回りました。

これらの結果、菓子食品部門全体の売上高は526億7千9百万円と前年同期実績に比べ77億4千5百万円(17.2%)増となりました。

冷菓部門

主力ブランドの「チョコモナカジャンボ」及び「バニラモナカジャンボ」のジャンボグループは、冷夏による影響を受けたものの、広告・販促の効果等により前年同期実績を上回りました。また「ビスケットサンド」や「パリパリバー」「パキシエル」等のマルチパック商品も好調に推移し、冷菓部門全体の売上高は192億5千1百万円と前年同期実績に比べ6億5千4百万円(3.5%)増となりました。

健康部門

主力ブランドの「ウイダー i nゼリー」は、3月に実施したリニューアルの成果が期待通りに出せず前年同期実績を下回り、「天使の健康」シリーズの通販事業は「おいしいコラーゲンドリンク」が前年同期実績並みに推移しましたが、その他商品が前年同期実績を上回り、通販事業全体では前年同期実績を上回りました。これらの結果、健康部門全体の売上高は120億6千1百万円と前年同期実績に比べ8億7百万円(6.3%)減となりました。

[主力商品前年同期比(単位: %)]

菓子食品部門		冷菓部門	
ミルクキャラメル	93	ジャンボグループ	101
森永ビスケット	117	ビスケットサンド	160
チョコボール	134	マルチパック	117
ダース	123	健康部門	
ハイチュウ	115	ウイダー i nゼリー	89
おととと	98	おいしいコラーゲンドリンク	100
ミルクココア	90		
菓子食品主力品計	112		
ベイク	131		
カレ・ド・ショコラ	121		
甘酒	106		

※表内の数値は国内売上高にて算出

これらの結果、<食料品製造事業>の売上高は839億9千2百万円と前年同期実績に比べ9.9%増となりました。セグメント利益は19億7千2百万円と前年同期実績に比べ2億7千8百万円の増益となりました。

<食料卸売事業>

売上高は、33億5千6百万円と前年同期実績に比べ6.4%増となりました。セグメント利益は1億4千7百万円と前年同期実績に比べて1千6百万円の増益となりました。

<不動産及びサービス事業>

売上高は、ゴルフ事業と不動産事業が前年同期実績を下回り、事業全体で13億5千8百万円と前年同期実績に比べ6.8%減となりました。セグメント利益は3億7千6百万円と前年同期実績に比べ2千3百万円の減益となりました。

<その他>

売上高2億8千5百万円、セグメント利益4千8百万円であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は1,444億4百万円となり、前連結会計年度末に比べ3千7百万円減少しております。主な要因は、流動資産の受取手形及び売掛金、原材料及び貯蔵品が増加した一方、有形固定資産の機械装置及び運搬具、投資その他の資産の退職給付に係る資産が減少したことなどによるものであります。

負債の残高は829億7千万円となり、前連結会計年度末に比べ11億2千3百万円増加しております。主な要因は、固定負債の退職給付に係る負債が増加したことなどによるものであります。

純資産の残高は614億3千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億6千1百万円減少しております。主な要因は、配当金の支払、退職給付に関する会計基準等の適用により利益剰余金が減少したことなどによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は0.8ポイント低下し40.7%となりました。

連結キャッシュ・フローにつきましては、次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ9千2百万円増加し、48億5千7百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は38億6千7百万円と前年同四半期連結累計期間に比べ14億4千6百万円減少となりました。主な内容は、売上債権の増加などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は20億8千2百万円となりました。主な内容は、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は16億4千1百万円となりました。主な内容は、配当金の支払額によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想（A）	178,700	3,550	4,000	2,450
今回修正予想（B）	177,700	4,300	4,700	2,800
増減額（B－A）	△1,000	750	700	350

第2四半期連結累計期間の業績につきまして、売上高は主力の食料品製造事業が予想より伸長したことに加え、原材料価格上昇の影響が予想を下回ったことや、広告宣伝費の投入量見直し及びコストの一部を第3・4四半期へシフトしたこと等のコスト減により、損益は、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに前回予想を上回りました。

第3・4四半期は、食料品製造事業の健康部門及び海外の売上高を、当初の予想より下方修正いたします。損益につきましても、売上高の下方修正及び第2四半期連結累計期間からのコストをシフトしたこと等により下方修正いたします。

第2四半期連結累計期間の実績と第3・4四半期の修正予想を踏まえ、通期業績予想を上記の通り修正いたします。

なお、当該予想数値の修正に関する事項は、平成26年11月5日発表の「平成27年3月期第2四半期連結累計期間業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」にも記載しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更し、割引率の決定方法を従業員の前平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が1,433百万円減少、退職給付に係る負債が910百万円増加し、利益剰余金が1,533百万円減少しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,765	4,857
受取手形及び売掛金	18,172	19,761
商品及び製品	8,719	8,846
仕掛品	423	499
原材料及び貯蔵品	5,199	6,347
繰延税金資産	1,786	2,026
その他	4,365	4,098
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	43,420	46,426
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	23,917	23,322
機械装置及び運搬具（純額）	20,231	18,559
土地	30,645	30,594
その他（純額）	1,607	1,656
有形固定資産合計	76,402	74,133
無形固定資産		
のれん	2,332	2,218
その他	548	523
無形固定資産合計	2,881	2,742
投資その他の資産		
投資有価証券	18,147	18,772
退職給付に係る資産	1,433	183
繰延税金資産	784	773
その他	1,428	1,429
貸倒引当金	△57	△55
投資その他の資産合計	21,737	21,102
固定資産合計	101,021	97,977
資産合計	144,441	144,404

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,151	17,517
短期借入金	345	473
未払金	8,590	8,849
未払法人税等	1,451	1,298
賞与引当金	1,788	2,033
その他	7,643	7,824
流動負債合計	36,971	37,996
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	15,854	15,836
繰延税金負債	5,099	4,332
役員退職慰労引当金	95	95
退職給付に係る負債	6,513	7,415
資産除去債務	130	131
受入敷金保証金	6,437	6,383
その他	744	780
固定負債合計	44,875	44,974
負債合計	81,847	82,970
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,612	18,612
資本剰余金	17,186	17,186
利益剰余金	22,369	20,953
自己株式	△2,535	△2,541
株主資本合計	55,632	54,211
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,753	5,355
繰延ヘッジ損益	46	63
為替換算調整勘定	333	△77
退職給付に係る調整累計額	△819	△729
その他の包括利益累計額合計	4,314	4,613
少数株主持分	2,646	2,608
純資産合計	62,594	61,433
負債純資産合計	144,441	144,404

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	81,306	88,993
売上原価	42,005	48,071
売上総利益	39,301	40,921
販売費及び一般管理費	37,208	38,655
営業利益	2,092	2,266
営業外収益		
受取利息	3	15
受取配当金	245	255
持分法による投資利益	12	—
その他	273	243
営業外収益合計	534	514
営業外費用		
支払利息	100	82
持分法による投資損失	—	9
その他	166	101
営業外費用合計	266	193
経常利益	2,360	2,587
特別利益		
固定資産売却益	19	12
投資有価証券売却益	313	—
特別利益合計	332	12
特別損失		
固定資産除売却損	257	102
減損損失	218	—
その他	138	—
特別損失合計	614	102
税金等調整前四半期純利益	2,078	2,496
法人税、住民税及び事業税	1,249	1,264
法人税等調整額	△439	△464
法人税等合計	810	800
少数株主損益調整前四半期純利益	1,268	1,696
少数株主利益	10	17
四半期純利益	1,258	1,679

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,268	1,696
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	653	600
繰延ヘッジ損益	△41	18
為替換算調整勘定	439	△282
退職給付に係る調整額	—	89
持分法適用会社に対する持分相当額	16	△184
その他の包括利益合計	1,068	243
四半期包括利益	2,337	1,939
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,256	1,978
少数株主に係る四半期包括利益	81	△38

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,078	2,496
減価償却費	3,210	3,208
減損損失	218	—
のれん償却額	49	97
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△138	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△12	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	277
賞与引当金の増減額 (△は減少)	305	244
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△14	△0
受取利息及び受取配当金	△248	△271
支払利息	100	82
持分法による投資損益 (△は益)	△12	9
投資有価証券売却損益 (△は益)	△313	—
固定資産売却損益 (△は益)	47	3
固定資産除却損	190	87
売上債権の増減額 (△は増加)	3,135	△1,647
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△550	△1,387
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,682	525
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△300	274
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	16	△4
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△331
未払金の増減額 (△は減少)	△127	263
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	216	1,217
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△96	△54
その他	△3	4
小計	6,069	5,095
利息及び配当金の受取額	248	271
利息の支払額	△115	△81
法人税等の支払額	△888	△1,418
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,313	3,867
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,815	△2,052
有形固定資産の売却による収入	358	38
無形固定資産の取得による支出	△18	△7
無形固定資産の売却による収入	0	—
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	559	—
関係会社株式の取得による支出	△34	—
その他	△154	△59
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,106	△2,082

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△792	137
長期借入金の返済による支出	△3,003	△8
自己株式の取得による支出	△6	△5
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△1,562	△1,562
その他	△203	△202
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,568	△1,641
現金及び現金同等物に係る換算差額	41	△51
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△6,320	92
現金及び現金同等物の期首残高	9,377	4,765
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,057	4,857

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	食料品 製造	食料卸売	不動産及び サービス	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	76,399	3,153	1,457	81,010	296	81,306	-	81,306
セグメント間の内部売上高	436	374	314	1,125	621	1,746	△1,746	-
計	76,835	3,527	1,771	82,135	917	83,053	△1,746	81,306
セグメント利益	1,694	131	399	2,225	96	2,322	△229	2,092

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額 △229百万円には、セグメント間取引消去 5百万円、各報告セグメントに配分していない
全社費用 △187百万円、のれん償却額 △49百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰
属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

(単位 百万円)

	食料品 製造	食料卸売	不動産及び サービス	その他	調整額	合計
減損損失	218	-	-	-	-	218

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	食料品 製造	食料卸売	不動産及び サービス	計				
売上高								
外部顧客に対する売上高	83,992	3,356	1,358	88,707	285	88,993	-	88,993
セグメント間の内部売上高	378	341	293	1,013	628	1,642	△1,642	-
計	84,371	3,697	1,651	89,720	914	90,635	△1,642	88,993
セグメント利益	1,972	147	376	2,497	48	2,545	△279	2,266

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、研究用試薬の製造販売他であります。

2 セグメント利益の調整額 △279百万円には、セグメント間取引消去 7百万円、各報告セグメントに配分していない
全社費用 △176百万円、のれん償却額 △97百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰
属しない一般管理費及び新規事業開発費等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。